

下塚田地区の概要

地域からは、遠景として、南に校区内の細田小学校並びに細田中学校の校歌にもある、「滝が平峰」が東西に連なり、北には日南市最高峰の小松山が望め、北西方向には、小松山と峰を連ねる男鈴山、女鈴山が連なり、四方を山々に囲まれた地域の中に位置する。

更に近景として、地域の周辺は標高50メートル前後の丘で、その丘陵の殆どで果樹園が開園され、地区の主産業を形成している。更に、地域の中心部を北西方向から南東方向に、清流細田川が地域資源の水源として地域を潤している。



(地区西側より常幡圃場を臨む)

主要幹線道路は、県道3号（日南志布志線）、県道54（飫肥榎原停車場線）、市道塚田萩の峰線が東西南北に近い形で整備されているが、通行車両等は、その殆どが地域由来の関係車両であり、他地域から他地域への移動のために通過する車両は僅かであった。しかし、県道3号線の日南市区間の回廊工事が済み通行車両も多くなってきている。今後県道54（飫肥榎原停車場線）の改良工事が進むと、地域を通過する東西南北方向の通行車両も多くなると予測される。

地域の主産業は、柑橘類を主とした果樹の栽培が中心であり、主産物は、極早生みかん「にちなん1号」を筆頭に、きんかん、日向夏、ぽんかん、八朔等の柑橘類である。地域中心部に位置する水田に関しては、地区内で耕作されている面積は約25ヘクタール弱であり、その殆どが自家用米の域を出てない。その他、地区内では、大規模養豚場が1施設、地頭鶏の育成施設が2施設あるが、地域の経済的基盤は、極早生みかんを中心とした果樹栽培である。

地域は、世帯数71戸、地区人口139人で構成されており、2023年08月1日現在住民基本台帳によれば、高齢化率は60%台に達し、限界集落へ突き進んでいく状態が予測される。そのうち70歳以上の一人住まいの世帯が、8世帯ある。非農家の3戸は、何れも農

地を有し家庭菜園程度の生産は行っている典型的な中山間地であるが、現在、高齢化が進んでいるとは言え、曲がりなりにも地域の地縁的機能は維持されている。

しかしながら、地縁的な繋がりも薄れつつあり、地区住民の減少、担い手の高齢化、後継者不足等に起因する耕作放棄地の増加、生産農作物の販路不足等々による、生きがい喪失、活気の低迷等の課題が山積みされている。

現在、地域を繋ぎとめている集落自治機能も、近い将来その機能を果たせなくなるのではとの危機意識が、全住民の胸のうちには存在し、只今を生きて地域を機能させているに過ぎないと言う諦めにも似た虚無感が多くを占めている。

しかし、平成12年度から始まった中山間地直接支払い制度の導入（下塚田営農組合）、平成19年度から始まった農地・水・環境保全向上対策事業（ゆめ豊か〜下塚田!）の導入等々で、協同作業を通じ、世代間世帯間業種間を越えた交流が深まり、地域住民の風通しが良くなり、地域の抱える問題や課題、世代間の思いや考えを話し合う場が年間を通じ多くなってきている。現状、具体的な共同活動も少しずつではあるが、立案実行されるようになってきている。地域が元気になり、会員一人一人の生き活きとした地域活動参加への取り組みへの意識の醸成が成されつつあるのが現状である。

農業生産の現状 集落の現状で前記したように、地域の主たる農業生産物は、その殆どが極早生みかんを中心とした露地みかん、次に多いのが、施設栽培、露地栽培のきんかんの生産であります。この園地面積は、東京ドームの40倍に当たる43.2ヘクタールあります。この園地は、居住地域を囲むように地域の四方の標高50メートル前後の丘陵地帯に開園されており、その生産の中心は、7名の認定農家である。

次に耕地面積の多いものは水田であるが、地域内で現在耕作されている水田は、20ヘクタール強で、その殆どは自家用米の生産だけが行われている。山間地に位置する水田は、農振農用地であるにもかかわらず10年以上も耕作されず耕作放棄地となっている。その一部の3ヘクタール強の水田を農地・水・環境保全向上対策事業の共同作業で改善復旧している。本来の水田の機能を取り戻すためには、まだまだ手を加えなければならないが、様々な補助事業等を導入しながら新たな担い手を育成中である。

現状で無策のまま徒過していたら、地域由来の集落機能は機能しなくなり、近い将来に廃村になってしまう。つまり、現在相当規模で果樹栽培をしている何戸かの認定農家と、数戸の地域住民しか住まない地域となってしまう、地域機能は維持していけなくなります。

土地改良事業は、あくまでも地域が目指す目標達成のためのきっかけづくりであります。この事業をきっかけに、地域住民が更なる交流を深め、様々な知恵を技を出し合うことによって、地域住民が一丸となり世代を超えて、高齢者にとっても終身現役で身の丈に合った農業生産に従事することで、生き活き生きられる「やる気や生きがい」の持てる地域創成が究極の目標です。

地区名	日南市大字塚田乙区内（下塚田地区）
事業実施主体名 （協議会等の名称）	下塚田ふるさと応援隊
事務局名	同上
仮事務局所在地	〒889-3155 日南市大字塚田乙2712番地
仮事務局連絡先	携帯電話：090-3329-7630 E-mail： hidaka@yumeyutaka.com
事業の対象集落名	下塚田地区
地域の範囲	行政地区
土地面積（ha）	606畝（6.6km ² ）
農地面積（ha）	中山間地域直接支払対象面積 2.503km ² （25.03畝）
	多面的機能支払対象面積 2.375km ² （23.75畝）
世帯数（戸） 及び概要	71戸（令和5年8月1日現在 住民数139名）
	構成比 男：71名 女：68名 高齢化率：60.43%
農用地保全活動を行う組織	
中山間地域等直接支払活動組織・多面的機能支払による共同活動組織 下塚田ふるさと応援隊 水利組合（4水利組合） 燕黒農道管理組合	



